

2022年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年10月15日

上場会社名 株式会社 サマンサタバサジャパンリミテッド 上場取引所 東
 コード番号 7829 URL <https://www.samantha.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 門田 剛
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 永井 利博 TEL 03(6400)5524
 四半期報告書提出予定日 2021年10月15日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：有（アナリスト、機関投資家向け 動画配信）

（百万円未満切捨て）

1. 2022年2月期第2四半期の連結業績（2021年3月1日～2021年8月31日）

（1）連結経営成績（累計）（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年2月期第2四半期	11,851	49.6	△1,828	—	△1,686	—	△2,434	—
2021年2月期第2四半期	7,921	△34.8	△2,043	—	△1,872	—	△8,091	—

（注）包括利益 2022年2月期第2四半期 △2,468百万円（－％） 2021年2月期第2四半期 △8,090百万円（－％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年2月期第2四半期	△36.97	—
2021年2月期第2四半期	△191.42	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年2月期第2四半期	22,205	4,324	18.2
2021年2月期	24,067	6,792	27.3

（参考）自己資本 2022年2月期第2四半期 4,047百万円 2021年2月期 6,567百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年2月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2022年2月期	—	0.00	—	—	—
2022年2月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2022年2月期の連結業績予想（2021年3月1日～2022年2月28日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	27,857	23.3	△1,992	—	△1,857	—	△2,751	—	△41.78

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

詳細は本日（2021年10月15日）公表いたしました「特別損失（減損損失）の計上、2022年2月期第2四半期連結累計期間の業績予想と実績値の差異および通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年2月期2Q	65,851,417株	2021年2月期	65,851,417株
② 期末自己株式数	2022年2月期2Q	214株	2021年2月期	214株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2022年2月期2Q	65,851,203株	2021年2月期2Q	42,270,595株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等に関するご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する主旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（金額の表示単位の変更について）

当社の四半期連結財務諸表に掲記される科目その他の事項の金額については、従来、千円単位で記載しておりましたが、第1四半期連結会計期間及び第1四半期連結累計期間より百万円単位で記載することに変更致しました。なお、前連結会計年度及び前第2四半期連結累計期間についても百万円単位に組替え表示しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(表示方法の変更)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	9
3. その他	10
継続企業の前提に関する重要事象等	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う4回目の緊急事態宣言の再発令もあり、経済活動は制限され、ワクチン接種が進みつつあるものの、未だ収束時期は見通せず、依然として先行きは不透明な状況で推移しております。

当社グループが属するファッション・アパレル業界におきましては、新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴う4回目の緊急事態宣言発令に伴い、大型商業施設に対する休業や営業時間の短縮要請、インバウンド客数の減少、外出自粛による消費低迷や購買志向の変化等により厳しい経営環境となっております。

このような状況下、当社グループは全国の店舗におきまして、お客様と従業員の健康と安全を最優先に考え、感染防止の取り組みを実施した上で営業を続けてまいりました。基幹ブランドであるサマンサタバサからはSDGsへの取り組みとして、エシカルなファッションを提案する新ライン「Samantha Green by Samantha Thavasa」がデビューし、名古屋、札幌、有楽町にて期間限定のPOP UP SHOPを開催いたしました。また、急速に変化している生活様式や消費行動にいち早く対応すべく、自社ECサイトのリニューアルやブランド別の公式LINEアカウント開設など、成長戦略であるデジタル領域の強化、既存顧客の買い物利便性の向上と新規顧客の獲得を目指し、オムニコマースの推進を図り、売上の回復を図ってまいりました。一方で、仕入の削減や在庫販売の強化、人員の効率化、広告宣伝費・販売促進費の抑制などの経費削減にも努めてまいりました。

店舗展開につきまして、バッグ事業においては6店舗の退店となりました。

ジュエリー事業においては、「Samantha Tiara（サマンサティアラ）」を小田急百貨店町田店に出店し、2店舗の退店となりました。

アパレル事業においては、4店舗の出店、8店舗の退店となりました。「REDYAZEL（レディアゼル）」をアミュプラザ博多、千葉ペリエ、札幌パセオ、なんばシティに出店いたしました。

海外においては、「Samantha Thavasa（サマンサタバサ）」をロッテ郡山アウトレットに出店し、2店舗の退店となりました。

サマンサタバサグループ合計で前年度末比12店舗純減し、当第2四半期連結会計期間末の店舗数は297店舗となりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は118億51百万円（前年度比49.6%増）、営業損失は18億28百万円（前年度は20億43百万円の損失）、経常損失は16億86百万円（前年度は18億72百万円の損失）、親会社株主に帰属する四半期純損失24億34百万円（前年度は80億91百万円の損失）となりました。

なお、当社グループは「ファッションブランドビジネス」の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を行っておりません。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

総資産は222億5百万円であり、前連結会計年度と比較して18億62百万円減少しております。主な要因は、現金及び預金が1億40百万円、受取手形及び売掛金が4億14百万円、商品及び製品が3億20百万円、有形固定資産が7億13百万円減少したことなどによるものであります。

(負債)

総負債は178億81百万円であり、前連結会計年度と比較して6億5百万円増加しております。主な要因は、短期借入金が19億30百万円増加した一方、その他（流動負債）が9億85百万円、長期借入金が1億95百万円減少したことなどによるものであります。

(純資産)

純資産は43億24百万円であり、前連結会計年度と比較して24億68百万円減少しております。主な要因は、利益剰余金が24億34百万円減少したことなどによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べ、2億36百万円減少し、22億54百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果使用した資金は、18億28百万円（前年同四半期は7億46百万円の資金の減少）となりました。主な減少要因は、税金等調整前四半期純損失23億55百万円、補助金収入77百万円などによるものであり、主な増加要因は、減価償却費3億42百万円、減損損失6億62百万円、たな卸資産の減少額3億51百万円などによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、1億50百万円（前年同四半期は25百万円の資金の増加）となりました。主な増加要因は、敷金及び保証金の回収による収入28百万円などによるものであり、主な減少要因は、有形固定資産の取得による支出60百万円などによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果増加した資金は、17億35百万円（前年同四半期は6億67百万円の資金の増加）となりました。主な増加要因は、短期借入金の純増加額19億30百万円などによるものであり、主な減少要因は、長期借入金の返済による支出2億円などによるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年2月期通期の業績予想につきましては、本日（2021年10月15日）公表いたしました「特別損失（減損損失）の計上、2022年2月期第2四半期連結累計期間の業績予想と実績値の差異および通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,491	2,351
受取手形及び売掛金	1,474	1,060
商品及び製品	8,246	7,925
仕掛品	1	0
原材料及び貯蔵品	110	87
その他	439	386
貸倒引当金	△2	△0
流動資産合計	12,761	11,810
固定資産		
有形固定資産		
土地	3,813	3,610
その他	2,926	2,417
有形固定資産合計	6,740	6,027
無形固定資産		
その他	1,754	1,619
無形固定資産合計	1,754	1,619
投資その他の資産		
差入保証金	2,005	1,982
その他	805	765
投資その他の資産合計	2,810	2,748
固定資産合計	11,306	10,395
資産合計	24,067	22,205
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,085	1,081
短期借入金	2,739	4,670
1年内返済予定の長期借入金	400	400
未払法人税等	239	79
賞与引当金	238	263
その他	2,629	1,644
流動負債合計	7,332	8,139
固定負債		
長期借入金	9,028	8,833
ポイント引当金	232	253
その他	682	655
固定負債合計	9,943	9,741
負債合計	17,275	17,881

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年8月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,132	2,132
資本剰余金	7,921	7,921
利益剰余金	△3,594	△6,029
自己株式	△0	△0
株主資本合計	6,459	4,024
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	45	46
為替換算調整勘定	63	△23
その他の包括利益累計額合計	108	23
非支配株主持分	224	276
純資産合計	6,792	4,324
負債純資産合計	24,067	22,205

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年3月1日 至 2021年8月31日)
売上高	7,921	11,851
売上原価	3,248	5,630
売上総利益	4,673	6,221
販売費及び一般管理費	6,717	8,050
営業損失(△)	△2,043	△1,828
営業外収益		
受取利息	1	3
受取配当金	0	5
為替差益	—	93
不動産賃貸料	12	58
補助金収入	208	77
その他	12	22
営業外収益合計	235	260
営業外費用		
支払利息	20	64
為替差損	34	—
その他	9	53
営業外費用合計	63	117
経常損失(△)	△1,872	△1,686
特別利益		
固定資産売却益	4	—
その他	2	—
特別利益合計	7	—
特別損失		
固定資産除却損	11	7
減損損失	6,183	662
特別損失合計	6,194	669
税金等調整前四半期純損失(△)	△8,059	△2,355
法人税、住民税及び事業税	32	43
法人税等調整額	△1	△19
法人税等合計	30	23
四半期純損失(△)	△8,090	△2,379
非支配株主に帰属する四半期純利益	0	54
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△8,091	△2,434

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年3月1日 至 2021年8月31日)
四半期純損失(△)	△8,090	△2,379
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△8	1
為替換算調整勘定	8	△89
その他の包括利益合計	0	△88
四半期包括利益	△8,090	△2,468
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△8,089	△2,520
非支配株主に係る四半期包括利益	△0	52

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年3月1日 至 2021年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△8,059	△2,355
減価償却費	221	342
減損損失	6,183	662
賞与引当金の増減額(△は減少)	63	25
ポイント引当金の増減額(△は減少)	9	20
受取利息及び受取配当金	△2	△9
為替差損益(△は益)	5	△0
支払利息	20	64
補助金収入	△208	△77
固定資産除却損	11	7
売上債権の増減額(△は増加)	98	418
たな卸資産の増減額(△は増加)	410	351
仕入債務の増減額(△は減少)	40	△88
未払費用の増減額(△は減少)	397	△538
その他	72	△496
小計	△736	△1,674
利息及び配当金の受取額	1	5
利息の支払額	△17	△65
補助金の受取額	6	53
法人税等の還付額	0	0
法人税等の支払額	△0	△146
営業活動によるキャッシュ・フロー	△746	△1,828
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△76	△60
無形固定資産の取得による支出	△13	△6
投資有価証券の取得による支出	△3	△3
敷金及び保証金の差入による支出	△16	△26
敷金及び保証金の回収による収入	105	28
その他	31	△82
投資活動によるキャッシュ・フロー	25	△150
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	833	1,930
長期借入れによる収入	4	4
長期借入金の返済による支出	△168	△200
配当金の支払額	△2	△0
その他	△0	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	667	1,735
現金及び現金同等物に係る換算差額	△10	6
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△63	△236
現金及び現金同等物の期首残高	1,660	2,491
被取得企業の現金及び現金同等物の期首残高	△1,660	—
取得企業の現金及び現金同等物の期首残高	1,380	—
合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	1,660	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,977	2,254

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(表示方法の変更)

(四半期連結損益計算書)

前第2四半期連結累計期間において、「営業外収益」の「その他」に含めていた「不動産賃貸料」は、金額的重要性が増したため、第1四半期会計期間より区分掲記しております。この表示方法の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間の連結財務諸表の組換えを行っております。

この結果、前第2四半期連結累計期間の連結損益計算書において、「営業外収益」の「その他」に表示していた24百万円は、「不動産賃貸料」12百万円、「その他」12百万円として組み替えております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書)

前第2四半期連結累計期間において、「営業活動によるキャッシュ・フロー」の「その他」に含めていた「ポイント引当金の増減額」及び「未払費用の増減額」は、金額的重要性が増したため、当第2四半期累計期間より区分掲記しております。この表示方法の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間の連結キャッシュ・フロー計算書の組換えを行っております。

この結果、前第2四半期連結累計期間の連結キャッシュ・フロー計算書において、「営業活動によるキャッシュ・フロー」の「その他」に表示していた479百万円は、「ポイント引当金の増減額」9百万円、「未払費用の増減額」397百万円、「その他」72百万円として組み替えております。

(追加情報)

(会計上の見積りを行う上での新型コロナウイルス感染症の影響)

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが属するファッション・アパレル業界におきましては、9月30日に緊急事態宣言が全国的に解除された後も外出自粛等の影響は当面継続するものと思われませんが、ワクチン接種対応等による経済活動の改善を想定し、新型コロナウイルス感染症による影響は、当連結会計年度の年内に概ね収束するという一定の仮定を置いて最善の見積もりを行っております。

(連結子会社の解散決議)

当社は、2021年8月18日開催の取締役会において、当社の連結子会社であるSAMANTHA THAVASA USA, INC. を解散することを決議いたしました。なお、同社は、現在清算手続き中であります。

(財務制限条項)

短期借入金のうち2,232百万円、1年内返済予定の長期借入400百万円、長期借入金のうち8,024百万円（2020年10月27日付シンジケートローン契約）には下記の財務制限条項が付されております。

- ①2022年2月期末日及びそれ以降の各事業年度末日において、連結及び単体の貸借対照表に記載される純資産金額を、2021年2月期末日における連結及び単体の貸借対照表に記載される純資産金額の75%に相当する金額、又は直近の事業年度末日における連結及び単体の貸借対照表に記載される純資産金額の75%に相当する金額のうち、いずれか高いほうの金額以上に維持すること。
- ②2021年2月期末日及びそれ以降の各事業年度末日における連結及び単体の損益計算書に記載される経常損益を2期連続して損失としないこと。
- ③株式会社コナカの連結子会社であることを維持すること。
- ④全貸付人及びエージェントの事前承諾なく、株式会社コナカを債権者とする2020年10月15日付の8億円の借入金の弁済を行わないこと。

(セグメント情報等)

当社グループは、「ファッションブランドビジネス」の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等

当社グループは当第2四半期連結累計期間に18億28百万円の営業損失を計上し、前々連結会計年度から継続して営業損失を計上しております。

このような状況により、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況が存在しております。当該事象又は状況を解消するための対応策として、2020年7月21日付けで株式会社フィットハウスと合併し、財務基盤が強化されるとともに、株式会社コナカの連結子会社になることにより、同社より2020年10月15日に8億円の長期借入を行うとともに、取引金融機関とは既往債務に約18億円を追加したリファイナンスを2020年10月30日に実施いたしました。これらの借入により、経営に支障をきたさない十分な資金を調達し、経営基盤の強化に取り組んでおります。

これにより、現時点では継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないものと判断しております。